



令和5年度

きこえとことばの支援センター

## 夏季研修会

午前は保護者、午後は東海地区の聴覚障がい児の指導・支援に関わる方を対象とし、研修会を実施しました。

日時:令和5年8月23日(水)

講師:大阪ろう就労支援センター センター長 前田 浩 氏

演題:

【午前の部】「聴覚障害者の就労をめぐって

～就労支援事業を通してお伝えしたいこと～

【午後の部】「聴覚障害者の就労とキャリア教育～対話的で深い学び～」

当日は、保護者、関係機関から岐阜聾学校会場に来校して参加された方、飛騨特別支援学校サテライト会場で参加された方、たくさんの方々に参加していただきました。ありがとうございました。



ご自身のご経験を交えて、聴覚障がい教育についてお話していただきました。

### 受講者の感想

- 子どもたちが聾学校を卒業後、どのように社会で生きているのか、また、生きていくのかを知りたかったので、前田先生が具体的な例を挙げながらお話ししてくださり、本当に参考になりました。やはり心配していたような厳しい現実ではありますが、子どもたちが社会の中で人と関わりながら生きていけるよう、保護者としてできることを頑張っていけたらと思います。(保護者)
- 聴覚障害児にとってなにが難しいか、今後、どのような力をつける必要があるか、わかりやすくお話ししていただきました。挨拶は幼い頃から大切にしていきたいと思います。また、セルフアドボカシーについて、小学部段階でもできそうなことがあるので、やってみようと思いました。(特別支援学校教諭)
- 学校と職場の間のギャップを埋め、支援を求めながら同僚と心地よく働けるよう、早めに体験的な指導を取り入れ、常に「なぜ?」と問いをもつよう促す重要性を感じました。ありがとうございました。(本校職員)



岐阜聾学校会場の様子